

# 明るく やさしく たくましく

平成25年度 「特色ある学校づくり対策事業」の実践

## 学校教育目標

豊かな心で 自ら学習し 最後までがんばる子どもの育成

児童数 6名  
学級数 2学級



### 1 目的

本校の学校教育目標「豊かな心で 自ら学習し 最後までがんばる子どもの育成」を達成するために、本校の特色である複式小規模校であること、地域とのつながりが大変強いこと、豊かな自然に恵まれていることなどを生かし、徳・知・体のバランスのとれた子どもを育てる。



<連合運動会の応援ダンス>



## 2 実践内容

### (1) 豊かな心を育てる体験・交流活動

米作りやサツマイモの栽培活動を通して命の大切さ、自然の大切さを理解する心が育った。また、他校との交流学习を通してコミュニケーション能力の育成を進めることができた。

#### ①地域とつくりあげる連合運動会

晴天に恵まれ5月には地域との連合運動会を盛大に実施した。全町民が一体となる行事となっている。今年入学した1年生3名もわずかな期間で演技をよく覚えがんばっていた。子どもたちはすばらしい達成感を得ることができた。

地域の方々よりいただいた温かい声援や励ましの言葉は、子どもたちの心にしっかり響いた。またこの交流体験により心も体も大きく成長することができた。

#### ②みんなで取り組んだ学習発表会&もちつき大会

11月に保護者、地域の方を招いて、全校児童による劇「庵浦物語パート2」、トランペット演奏などを行った。

また、地域の方の踊りを鑑賞することができ、よい体験ができた。今年は、平戸バリバリ劇団を招いて、「創作劇シンデレラ」の上演や庵鶴会（地域の踊りの会のみなさん）による踊りなどすばらしい出し物でおおいに盛り上がった



<学習発表会>



<もちつき大会>

#### ③米作り・芋作り体験学習

学校に隣接する田を借りて地域の方に指導を受けながら、児童が田植えから稲刈り、脱穀を体験し、もち米を収穫した。本年度田植えと稲刈りは、他校との交流の機会をさらに多くしようと考え、俵浦小学校の5・6年生と一緒に実施した。

また、学校の近くの畑に児童がいも苗を植え付け、秋に収穫した。芋の形や大きさは様々であったが、焼き芋にして食べたときのおいしさは、どれも最高であった。

#### ④近隣の学校との交流学习

環境や規模の異なる学校で学習させることにより、子どもたちに大勢の中での過ごし方、かかわり方を学ばせた。11月には全学年で俵浦小学校と一緒に学校外での体験学習を行った。12月には、船越小学校と交流をした。本年度は授業に参加したり一緒に遊んだりして楽しい1日を過ごした。うれしいことに子どもたちは、予想していた以上に自分たちの方から交流活動に積極的に参加をしていた。





＜船越小との交流＞



＜俵浦小との交流＞



＜野崎中との交流＞

## ⑤その他の活動



＜フッ化物洗口の取組＞＜人権のひまわり＞＜海上保安庁依頼のの看板の作成＞

## （２）学力充実を目指した活動

今年度も基礎・基本の充実と学力向上を目指し、スキル学習、複式指導の効果的な指導のあり方について研究を行ってきた。スキル学習については、基礎基本の力の充実を図ることができた。また、日々の学習内容の定着度を客観的にはかるとともに保護者への説明資料として全学年で学力検査を行った。

その他、学校司書を効果的に活用し、読み聞かせや積極的な読書指導を実施することで学力を向上することができた。

### ①基礎・基本の定着を目指したスキル学習

毎週木曜日（始業前）に漢字と計算のスキル学習を設定し、個々の児童の進度に合わせてプリントを用意して取り組ませることにより基礎的な内容の学習の定着を図った。

### ②校内研修

研究テーマ「自ら学び主体的に活動する児童の育成～基礎・基本の定着と表現力の向上～」にせまるために「複式指導における間接指導の充実」「児童の基礎・基本の定着」「児童の表現力の向上」「伝える力の向上」等を常に念頭におき、日々の授業及び研究授業に取り組んだ。

### ③児童理解・指導法改善のための全学年学力検査と個人面談

全学年で学力検査を行い、学習内容の理解状況を各児童ごとに把握し、全職員で共通理解を図った。また、保護者との個人面談を年間２回実施し学力検査の結果を知らせ、個々の児童の学力向上に向けた取組についての話し合いをしたりすることができた。

個人面談は予定した時間よりも多くかかったが、その分しっかりと学校と家庭の連携の上で取り組む約束等ができ有意義であった。



#### ④保護者による読み聞かせボランティア

金曜日の朝の読書タイムの時間を利用して、ボランティア（地域の方）による毎月1回程度読み聞かせを行った。また、学校司書による読み聞かせを行い読書が好きな子どもを育てることができた。

### （3）国際理解活動

#### ①5・6年での外国語活動

外国語指導助手（ALT）や国際理解指導員を招聘し、全学年で外国語活動を行った。英語での自己紹介やゲームを通して講師の先生と楽しく活動しながら表現力の育成を図った。全学年で学習する学習することで、英語で表現することを楽しむ子どもが増えた。

## 3 成果と課題

### （1）豊かな心を育てる体験・交流活動

赤崎青い実幼稚園・俵浦小学校・船越小学校・野崎中学校など、保幼小・小・中の連携の強ができた。また、演劇鑑賞・運動を通じた交流・餅つき作りなどの交流を通して、子どもたちの表現力・コミュニケーション能力の向上が見られた。交流に関してPDCAサイクルを生かした見直しを図ることで、活動を子どもの表現力・思考力・判断力を高める場としていきたい。

### （2）学力充実を目指した活動

スキル学習等により基礎・基本の定着を目指すことで、6名の児童の学力の向上が見られた。さらに、校内研修の充実をはかり、複式指導における間接指導の充実、表現力の向上、伝える力の向上をめざして研究を進めていきたい。

### （3）国際理解活動

外国語指導助手（ALT）や国際理解指導員を招聘し、子どもたちが楽しい外国語活動を行いながら、表現力を身につけてきている。

本年度も地域の方々や保護者の積極的な協力により、効果的な活動ができ、子どもたちが貴重な体験をすることができた。トランペットを中心とした音楽教育・地域を題材とした学習発表会、地域と一体となつて行う連合運動会など、地域の中核となるコミュニティースクールへ一歩近づくことができた。

